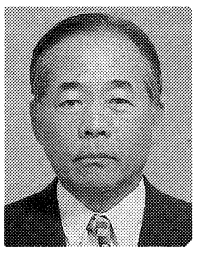
たいよう

発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

期の始めに



寒気さ裂き白梅咲きて春を告げ
凛と咲く梅一輪春知らせ

・長年の大目標一〇〇億完工実現後の一〇年。成長なくして繁栄なしとした経営の鉄則から見れば一〇〇億完工の線上を行ったり来たり。失われた一〇年としか言いようがありません。

・ソフトバンクの創業者孫正義氏は、目先の株価や利益は経営者として大事かもしれないけど、金銭的欲望や成果はたかが知れている。実業家として大事な事は、未来の分野に貢献できる事と語っています。その言葉をそのままとらえれば、太洋直近の一〇年、梅が寒気の中、凛と春を告げているように、決して失われた一〇年ではなかったと信じています。孫社長の語られた様に建設業の未来の分野に大きく貢献した事業づくりを進めた真に充実充電の一〇年でした。

・一〇〇億の起爆剤と位置づけてきました三工法日本一の一画、TRD、CCC、ミニウォール工法を一体化し、気泡を活用して壁工事日本一を目指すところまで昇華してきています。日経ビジネス編集長飯田展久氏は、一〇年後、二〇年後、日本や世界はどう変わっていくかは誰にも判らないが、どうしたいかは今から決められると語っています。壁工事日本一へ挑戦、実現こそ一五〇億完工。飯田氏が語られた今から決められるとしたいものです。

・三工法日本一と位置づけてきました矯正工事。東日本大震災における被災構造物、住宅のみで一〇〇棟を超す沈下修正工事施工で大きく社会貢献を果たしてきました。設備面に於きましても一号機として商品開発しましたすいへい君に続き、推力アップを図った二号機、ゼロ号、その他マット工法を開発し、三タイプの機種による多様な条件下での施工体制構築は、熊本地震でも大活躍しています。国交省など六省が国民生活を支えるインフラ維持管理に関する優れた取り組みや技術開発を表彰する第一回インフラ大賞に応募できるところまで実績を積み重ねてきています。今また新タイプの機種増設を進めていますが、名実共に日本一工法に昇華させてきました。セイコーエプソン碓井稔社長は、価値とは志を持って自分を磨きあげ世の中と真摯に向き合ってゼロから作り出すものだ。よそでは決して作れない新しい価値を生み出す会社にしたいと語っています。矯正工事仕様三タイプの施工法こそ太洋の独自開発。インフラ大賞公募の文に同機の装置システムは日本では太洋が唯一保有する超、超優れものと記しました。近日中に完成する新機種を含め確実に日本一工法になっています。

・我らが目指した三工法日本一の内、多孔管浸透注入工法、残念ですが日本一工法へと進化させることができていません。注入理論で言えば文句なしに日本一工法。今後どうイノベーションしていくか体制面での再構築が必要というところです。当システムも時代のニーズに乗り、土壌汚染改良工事に多く使われるようになり、一五〇億企業づくり、三工法日本一になくてはならない有資格工法と磨き育てあげなければならないと決意しているところです。

・NOVAの広告文、心の中にはいつもボーダーがある。好きか嫌いか、できるかできないか、常識か非常識か、いつの間にか引いている一線。線のこちらは心地よくて、向こうは険しい。生きることはボーダーを超え続けることだと思う。自分の世界を開き続けること。そこには勇気とパワーが要る。準備や練習や言葉が要る。怖い、面倒くさい、でも踏み出さなければ人生はつまらない。踏み出せ、今より大きな世界へ・・・。成熟職場、一五〇億企業づくりを目指す我らに学習すること多しと広告文を紹介しました。

・成熟した職場づくりの内、神守研究開発センターについて記してみます。三二期、主力営業工種、推進工事全盛期の中で重機土木分野へ営業拡大の先兵としてTRD工法の採用に踏み切りました。以来一八年になりますが、現主力営業工種に育っています宅盤基礎補強工事に大型設備投資を行い、続いて杭抜きヒロワーク工法施工の中心拠点として存在感を発揮してまいりました。場内の衛生面に於いて、二ヶ所のトイレを五ヶ所に増設。環境美化、健康快適職場づくりとして、塵、ほこり、陽射しを防ぐ目的に一〇〇〇本の植樹を目指し、八〇％は実現。効率化、安全対策に安全通路のカラー化を進め、安全安心職場になっています。全部門黒字化の課題に於いては三二期、年二・五億の欠損職場を四九期累積で収益ゲット、五一期上旬には収益一億の大台に達します。二・五億の欠損事業部、累積主義で進めてきましたので、三三、三四、三五期と期を重ねる毎、累積欠損額が拡大し気の重くなる環境下でしたが、目先の業績に惑わされるな、働く仲間を信じ職場のモチベーションを上げ続ければ必ずや業績はついてくる。センターでの改革を思い起こしながらこの項にペンを走らせていますが、孫社長の言葉を借り、全部門のリーダーに業績には山もあり谷もある。良い時も悪い時も目先の業績に振り回されず、建設を通して社会貢献、我らの技術が社会を潤すと心定め累積主義で職責に励んで下さい。センターの歩みの中で確信を得た方程式を紹介しました。改めて成熟企業、一〇〇年職場づくりは累積主義であるべきとリーダー各位にエールを贈ります。

・経済評論家が日本ではイノベーションを技術改革ととらえてきたところに成長経済の空白期をつくってしまった。本来イノベーションとは、技術を世の中に役立たせるもの。その意味で言えば、太洋独自工法、浅深４軸、ミニウォール工法の協会設立。多くの基礎工事業の仲間と協業で社会に役立たせていく、まさにイノベーション。この面でもこの一〇年は充電期間として一五〇億企業への備えは充分してきたと五一期をスタートしたいものです。

・文を締めるに、日産自動車カルロス・ゴーン社長が日本経済新聞朝刊私の履歴書の最終文に、日本は信じがたいほどすばらしい国と記しています。期の始めに私も記したい。太洋は信じがたいほどすばらしい会社と。

顧問　豊住　満

二月は旧暦で如月と言います。語源の由来は、寒さで着物を更に重ねて着る着更着とする説が有力ですが、その他に春に向かって草木が生き返り、芽吹く季節として生更木と言う説もあります。まさに春に向かってスタートする五一期二月にふさわしい月名であると思います。

前期業績は大型工事の着工延期や官公庁物件の発注遅れ等により完工高が伸びず、昨年一二月に業績予想修正の発表を行いました。悔しさをバネに各営業スタッフの頑張りが功を奏して、第４四半期より受注状況が上向きとなり今期は良いスタートが切れそうです。

元旦より日経朝刊私の履歴書に、日産自動車社長のカルロス・ゴーン氏が執筆されました。たいへん参考になる所が多く少し引用させて頂きます。

「数字は多様な文化を持つ組織でみんなが共有できる優れたコミュニケーション手段である」

完工一五〇億へ向けての第二ステージ、現状の一・五倍の完工高達成には営業先、営業工種、社員や協力会社の体制など多くの課題がある中、昨年ミニウォール工法協会と浅深４軸工法協会が設立され新たな仲間が増えました。そして両協会に東日本・中日本・西日本支部が設置され全国展開の環境が整いました。今年は浅深４軸工法のNETIS登録を含め工法普及に大きな期待をしています。

五一期二月より発足しました名古屋支店建築部は新たな分野への挑戦と捉え、井戸工事や液状化対策など特殊土木で培った技術を活かし、いつもお世話になっているお得意様各位へ小規模なリフォームを含め独自の提案ができると考えております。

今年は東京オリンピックやリニア中央新幹線関連工事の発注が増えると予想されます。一五〇億完工という共通の言語で職域全体へビジョンが浸透すれば第二ステージは必ず達成できると確信しております。

「ブランド力の強化は持続的な成長のための最も有効な取組みである」

自社ブランドとして先ほど述べたミニウォール工法や浅深４軸工法、TSC工法、気泡安定液を用いたTRD工法、RBPウォール工法など建設技術データベースサイト、イプロスへ数多く登録しており、建設技術審査証明取得やNETIS登録等でブランド力を高めております。各工法のカタログが手軽にダウンロードできますので、是非イプロスをご利用ください。

開発部の主なお得意様は住宅業界でトップブランドの大手住宅メーカー様です。お得意様のブランドを更に高める良質工事を提供してこそ、当社の技術力、各工法のブランド力向上に繋がります。

私の所属する管理本部について記します。毎日早朝より男性陣による近隣清掃、女性陣による事務所内清掃からスタートし、気持ち良く朝礼を向かえます。先日も近くのコンビニ店の方から清掃の感謝とお褒めの言葉を頂きました。自動車メーカーの販売店で毎日始業前に近隣清掃されている店舗があり、成績は全国一との記事を読んだ記憶があります。管理本部は社内キャッチフレーズ、信頼安心の砦と共に、ブランド力向上にも貢献しています。

「アライアンスについて」

平成一五年に株式会社三東工業社、平成二五年に株式会社テノックス、保有技術の補完等を含め経営の一層の効率化を図るべく提携を行いました。これまでにTRD工事や地盤改良工事等の施工協力のほか、専用機のリースや中古機の販売、保有特許の移転、工法協会への入会など相乗効果の成果は着実に上がっております。現在は三社で新工法の共同開発へ向けて検討中です。日産・ルノーに負けない、より良いアライアンスへと継続して行く所存です。

最後になりますが、伊藤社長が年始に掲げました今期の最重要目標六点を確認します。

①無事故・無災害（交通災害含む）の達成。
②全部署全現場黒字達成。
③主力工種TRD工法の受注拡大。ミニウォール工法、浅深４軸工法、RBP工法の受注拡大。
④人材確保及び社員・協力会社他の教育講座の開催。
⑤全支店をISO基準レベルで管理。
⑥施工管理・品質管理・工程管理及び原価管理を確実に行い収益確保。

以上の六点に、
⑦建築部の受注拡大。
⑧住宅関連事業の営業工種拡大。
⑨全部署セールスフォースの有効活用。

以上の三点を加え、実りある五一期を目指します。皆様のご支援宜しくお願い申し上げます。

専務取締役管理本部長
加藤　行正

最前線レポート

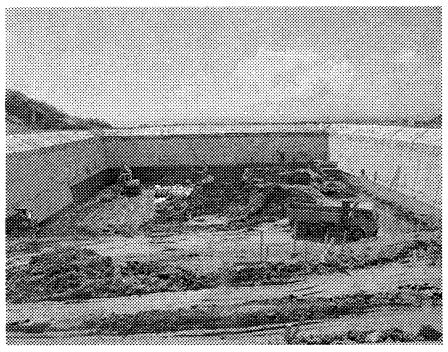
沖縄にてＲＢＰウォール工法
産廃処理施設工事着工

発注者名
沖縄県南部広域行政組合
元請
南部電工・第一建設ＪＶ
（有）大地建設
工事件名
被覆型一般廃棄物最終処分場建設工事（１工区）
工事場所
沖縄県南城市玉城町奥武
工事概要
補強土擁壁工
壁面工
Ａ＝二二九一・二㎡
Ａ＝四九五・〇㎡
裏面排水工
Ｌ＝二〇三八・〇ｍ
Ｌ＝七八・〇ｍ
鉄筋挿入工
Ｎ＝一〇八七本
ΣＬ＝二四六七・五ｍ
Ｎ＝四六本
ΣＬ＝一〇四・五ｍ

当現場は、沖縄県の南部に位置し、沖縄連絡所を開設して三年目の第一号現場で根間所長が営業担当された現場です。沖縄県が問題としています産業廃棄物処理施設の建設が急務となり、二年前より、福岡市の日本水工設計(株)様にＲＢＰウォール工法の設計折込みを開始しました。

沖縄県の地質は本土と違い特殊です。現場の土質は調査の結果、島尻泥岩、クチャ層が点在し、鉄筋挿入工の削孔長が変更されました。現場全体は1工区、2工区と分かれており、平成二七年二月に発注された1工区を南部電工・第一建設ＪＶ様が落札されました。

元請施工の爆弾探査、建屋の基礎杭工事、搬入路整備等、ＲＢＰウォール工法施工開始迄の土工事で当社の乗込みが昨年八月となりました。工事着手に当り沖縄での作業に慣れる事と熱中症対策、作業時間の配分等、協力会社と協議し、安全第一に完工目指してスタートしました。



平成二七年一〇月に1工区の残工事が発注され、（有）大地建設様が落札され、一〇月に契約となり、今年度末完工を目標に発注者様、元請様、協力会社一体となり、安全作業で頑張っています。

九州支店　工事部
小川　利夫

工法紹介
ソイルバック工法（Ｄ・ＢＯＸ）紹介

ソイルバック工法は、松岡元（はじめ）名古屋工業大学名誉教授様が、昔から使われていた「土のう」に、それまで知られていなかった数々の驚嘆すべき有用な力学特性を科学的に解明（解析・実証）し、現代に蘇らせた工法です。この工法には、以下のような特性があります。土砂を完全に包み込み拘束することで中詰め材の粒子間の摩擦力を増加させることができます。また、セメント系固化材を使用しなくも固化（拘束）することができ粘着力Ｃ（強度）を与えることができます。同時に、袋の編み目のフィルター効果（高い透水性を有する）により沼地のような水浸へドロ状態の粘性土地盤であっても、過剰間隙水圧の解消を促し、土のう直下から圧力球根状に局所的に圧密させて直下の軟弱地盤を速やかに改良（強化）し、地盤の支持力を増大させ沈下量を減少させます。さらに、土のうは僅かにしなやかさを有するので、交通振動や地震動のエネルギーを、目には見えない微少な袋の伸縮によって中詰め土の粒子間の摩擦熱エネルギーとして消散させます。

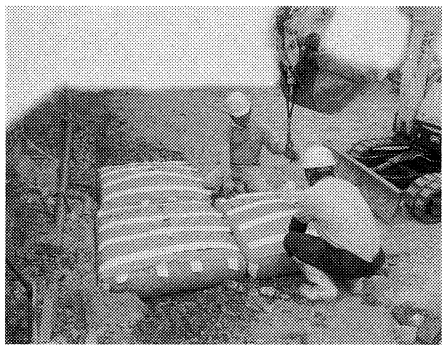
まとめると、特性は以下の通りです。①環境にやさしい（中詰め材は砕石や発生土（用途・土質によっては不可）等の自然素材を使用する）②軟弱地盤対策（土のう内部の土だけでなく、その直下の軟弱地盤まで強化する）③振動低減効果（最大一五ｄｂの振動低減の計測実例あり）④液状化対策（地震時の間隙水圧の解消）⑤凍上防止（砕石粒子間の隙間も大きいので水が毛管上昇しない、水の補給がないので凍上しない。）⑥優れた施工性（特殊な重機を使用せず、場合によっては人力だけでも施工が可能）

これらの優れた特性を最大限に発揮させ、進化させた箱状の袋がＤ・ＢＯＸです。

当社で施工した事例を紹介させて頂きます。軟弱地盤上に設置された重量の大きな工作機械。この状況から容易に問題が想像できると思います。皆様のご想像通り、機械公正（レベル調整）が頻繁に必要となり、機械振動が原因と思われる不良品率が高く、お施主さまは非常にお困りでした。そこで、当社からＤ・ＢＯＸを提案し、ご採用頂きました。先に述べた特性から、地盤補強だけではなく機械振動低減にも大きく効果を発揮し、お施主様にも非常に好評でした。施工後、機械公正を一度もしていないとの報告も受けています。

このように一石〝多〟鳥の効果をもたらす優れた工法は注目に値し、土木でも建築でも幅広く活躍できると思います。ご興味がございましたら、是非とも当社をご用命頂ければと思います。

名古屋支店　営業部
係長　松尾　誠司



ひとり言

・日曜日の午後、日当たりの良い居間で何気なくテレビを観ていた。流れてきたのは、ジェリー藤尾の聞き覚えのあるメロディー。思えば遠くに行きたいもんだ。今年の二月、金婚式を迎える。四月の誕生日がくると喜寿を迎える。思えば遠くでなく、思えば長く生きてきたものだ、になる。そんな事を考える内、社業について想いは広がり、創業五八年、昨年一一月、九州支店の頑張りでＮＥＴＩＳ登録ができましたＲＢＰウォール工法、現在沖縄で施工中。沖縄にも舞台は広がっている。一昨年、東京支店の頑張りで札幌大規模ＴＲＤ施工。南から北まで、思えば名古屋で産まれた太洋が遠くまで舞台を広げている。名古屋支店の頑張りで受注できました三重のメガソーラー、四月には本格施工。広く大きく遠くまで業容が拡大している。そう言えば、・五時、朝刊を取りに玄関へ。足下の沈丁花から今日も良い日にと豊じょうな香りの励ましを受ける。沈丁花の横に赤い実をつけたクロガネモチ。枝に陶器のフクロウ。福路を歩みなさい。下では狸の置物。他を抜きなさい、負けてはいけません。早朝からこれだけ励まされては頑張らねばと一日が始まる。

・二月一日（水）大安吉日。五一期のスタート。早朝の決意を一年持続し一五〇億という大きな目標は自分を磨く大きな砥石。

・成熟企業は一五〇億完工で結果としてついてくる。自発能動、何度この語句を使ったであろう。リーダー各位様へ自ら動かずして人が動くはずがない。

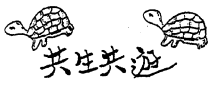
・応仁の乱以来続いてきた戦乱を太平な時代に導いた三英傑。

・信長、第六天の魔王という呼び方もされるが、現状を打破し既存の権力に立ち向かう闘争心から秀吉、家康が学び戦国時代を太平に。

・秀吉、恐い恐い主人に仕え先見性を学び養った処世術が天下統一の偉業となりました。晩年の秀吉に学ぶことはありませんが、超大国アメリカ、統による市民の生活不安、刃狩りをした秀吉の功績が日本の治安につながっている。長年防犯活動にかかわった私には大功績と認められてなりません。

・家康、鳴くまで待とうホトトギスと言われてきましたが、一日として何もせず待っていた武将ではなかったかと思えます。忍耐の先に大きな希望を抱き、二六〇余年の太平を支えた三河武士団の忠誠は、下臣を信じ大切にしての大偉業。自分に厳しく人に優しくはリーダーの責務。働く仲間を大切に、この方程式で成熟企業、一五〇億企業は実現する。

顧問　豊住　満



社長室だより
月間ＭＶＰ賞

受賞者
東京支店　工事部
係長　松山　信吉　殿
主任　大島　恵介　殿

先月号の最前線レポートで紹介しました、東京都発注の南元町付近下水道改良工事が、平成２８年度東京都下水道コンクールにおいて見事優秀賞に輝き、都庁に於いて下水道局長様より直接表彰状を頂く快挙となりました。創意工夫によって近隣への工事へのご理解を頂いたことが高く評価されたものと理解しております。業界紙にも掲載され、当社の存在が東京都でも大きくＰＲできました。この業績を称え、本工事に携わった両名を月間ＭＶＰ賞に推薦致します。

推薦者
取締役東京支店長
奥山　喜裕

受賞者
ディック商会
北澤　茂輝　殿

この度、積水ハウス（株）長野支店様にてＳＨＭ成約されました。お礼を込めて月間ＭＶＰ賞に推薦します。

受賞者
長野支店　工事部
課長　田中　真平　殿

この度、積水ハウス（株）長野支店様に紹介した紹介物件が成約となりましたので、月間ＭＶＰ賞に推薦します。

推薦者
長野支店　開発部
部長　名倉　兄悟

月間ＭＶＰ賞は当社職員だけでなく協力会社の皆様も表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者がでることを期待しています。

代表取締役社長
伊藤　孝芳